

令和4年度 第5回磐田市消防庁舎整備検討委員会 会議録

開催日時 令和4年12月27日(火)
午前10時30分から午前11時35分まで

開催場所 磐田市役所西庁舎3階特別会議室

出席状況 委員(8名)
副市長、消防長、総務部長、危機管理監、企画部長、建設部長
経済産業部長、資産経営課長
事務局(5名)
消防総務課長、特命参事、消防本部部付主幹、併任主査
消防計画推進専門官

議事内容 1 磐田市消防庁舎整備基本計画(案)について
報告内容 1 建設予定地に関する業務の進捗状況について

◇◇◇・・・◇◇◇・・・◇◇◇・・・◇◇◇・・・◇◇◇・・・◇◇◇・・・

会議内容
開 会

議長 委員長

議事1 磐田市消防庁舎整備基本計画(案)について

(委員長) 第4回の委員会で計画案の大項目、第1・第2について、委員から意見が出されている。その修正状況について、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 1ページ、第1の基本計画の趣旨、2基本計画の位置付け、の図の中で、「都市計画マスタープラン」の記載は不要との意見については、配置方針、基本構想の再掲となり、関係性は無いが、同じ第二次総合計画下であるという意味と捉え、掲載を継続。

同じく、フローチャートの見出しについて、「基本構想から建設工事までの流れ」を「基本構想から新庁舎完成・供用開始までの流れ」に変更。

次に、5ページの第2の新庁舎整備の考え方、2基本方針に基づく要件のうち、(1)⑤消防災害対策本部の常設や(2)訓練施設を充実

させた庁舎③から⑦までの施設の設置により、敷地面積や床面積の増大を心配する意見については、災害対策本部室は現在も常設で、優先順位が高いこと、訓練施設は訓練場所の確保に苦慮していることが課題であり、特に潜水施設は学校や有料施設を借用して実施していることから、記載を継続。

次に、7ページの、3新庁舎に必要な機能に関して、コンピューターサーバー室の設置については、今後詳しく調査して、室としての規模が必要となれば追記等を検討。

次に、消防のPR場所の必要性については、23ページの第5の新庁舎の計画中、(2)⑤展示・見学・学習スペースで記載。

同じく、3新庁舎に必要な機能のうち、(2)消防署の災害対応環境の中で、①の3部制に関する表現を削除。②の食堂、炊事、水回り等と③の災害出動関係を兼ねることはできないかとの意見については、兼ねることはできないと判断して、記載を継続。

その他、ららぽーとの渋滞対策については、第4の配置計画、1敷地のゾーニング及び緊急車両出動動線のうち、(1)の文中に「接道側には大型商業施設への渋滞回避のため、停止禁止部分の設定ができるよう検討します。」と記載。

第1の基本計画の趣旨と第2の新庁舎整備の考え方についての意見と反映状況の説明は以上となる。

(委員) 潜水訓練施設などの検討とあるが、多くの財源が必要になることから、必要な施設については、十分に検討し、精査していただきたい。

(委員長) 2基本方針に基づく要件 「基本方針5項目の詳細は、以下のとおりとします。」は、「・・・詳細は、以下のとおりとし、検討を進めていきます。」に変更するようにお願いします。

(委員長) 大項目第3以降について、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 第3の建設予定地、第4の配置計画、第5の新庁舎の計画、第6の事業スケジュール・事業費までについて、審議いただく。

11ページ、第3の建設予定地、1建設予定地の考え方については、東名高速道路磐田IC周辺が望ましいとして、第2回の委員会にて示した「候補地の考え方」の資料をベースとして選定の条件を設定し、その下段には現行の市域包含配置図と磐田ICに新庁舎と仮定した市域包含図を比較して掲載。

12ページではAからFまでの候補地を地図で示し、広大なC候補地にあつては西寄りをC1とし、東寄りをC2と分割する旨を

かっこ書きで記載し、13、14 ページでは磐田市消防庁舎移転候補地検討資料作成業務委託の調査結果を掲載して、その比較考察から最適地をC2と決定している。

15 ページから4建設予定地の概要及び状況として、航空写真と面積概要、16 ページからは水道、道路や各種申請関係を掲載。

17 ページからは第4の配置計画として施設配置の留意事項とゾーニング、動線、断面のイメージ図を掲載している。

18 ページからは第5の新庁舎の計画として、1 庁舎棟、(1)庁舎のゾーニングと動線では、職員の動線と来庁者の動線の分離をイメージ図で示し、19 ページから23 ページまでは、(2)各室の計画として、消防本部、消防署、共用部分、消防団本部、展示、見学、学習スペースで分類し、室名と用途を記載。23 ページ下段から(3)構造計画として、①新庁舎に求められる構造体の耐震性能についてと、次ページには「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」の表を掲載。続く25 ページには構造形式の検討として耐震・制震・免震構造の概要の表を掲載。26 ページから(4)設備計画・(共通事項)、(5)電気設備計画、27 ページの(6)機械設備計画、に続き、28 ページ下段の(7)環境への配慮、(8)体験見学施設の概要、でまとめている。

29 ページからは2車庫棟、として(1)車庫のゾーニング・動線、のイメージ図で始まり、区分けした車庫に駐車する車両ごとの規格表、続けて車庫、ホースタワーの用途を表形式で記載、31 ページ中段から車庫の構造設備計画等を記載している。

32 ページからは3訓練施設として訓練塔の概要や学習体験施設について記載、続く4付帯施設では、自家用給油取扱所や資機材倉庫など必要な施設を記載している。

5 主な施設の規模では、庁舎・車庫の延べ面積、6 関連施設には防災関連倉庫と緊急消防援助隊宿営地を記載している。

最終、第6の事業スケジュール・事業費では、今後のスケジュール表等を記載している。

《質疑応答》

(委員) 予定地を区分けして示しているのので、他ページと合せて区分けせずに表記したらどうか。

建設予定地の決定では拡張余地ではなく、全体面積で記載すべきと考える。

傾斜面地のため、有効面積が減ることを示してはどうか。

配置イメージ図の庁舎棟に、ヘリポートがあり唐突に感じるため、

配置イメージ図のヘリポートを削除し、他で記載したらどうか。

事業スケジュールについて、財源確保の観点から、用地買収、設計、工事が途切れることのないような調整をお願いします。

農業振興地域除外申請では、ある程度精度の高い図面（平面図、立面図、雨水排水計画など）が求められるが、現状、設計図書を委託する基本設計について、除外申請後に計画されているが、理由があるのか。

(事務局) 申請に必要な業務委託の概略設計として、令和5年度に行う予定である。

(委員) 概略設計と基本設計を併せて委託する方法もある。

(事務局) 委員からの意見により修正を行う。

報告1 建設予定地に関する業務の進捗状況について

- ・用地交渉を1月開始予定
- ・5年度に測量と他の委託費を計上
- ・用地費は6年度一括計上予定
- ・3/20～4/20 にパブリックコメント募集。→委員会開催→令和5年6月公表予定（パブコメ開始前に議員懇談会）

(委員長) 消防では、これまでも自治会連合会長をはじめ、支部長や地区長などに説明を行ってきた。今後もこれまで同様、丁寧な市民への説明をお願いしたい。どこまでやれば、どの方法でやれば市民周知と言えるのか疑問は尽きないが、何かの機会を捉えて説明する努力をお願いします。

<議了>

閉 会

以上